



障がいのある人の雇用に取り組む



株式会社 **ユーシン・ショウワ**

京都工場（亀岡市）

「京都はあとふる企業」です

【主な事業内容】

錠前及び各種セキュリティシステムの製造販売

【障がいのある人の主な仕事】

各種部品の加工・組立作業

【障がい者雇用の経緯】

3年前に錠前の組立担当者の求人難に悩んでいた時に、地元の特別支援学校からの紹介で実習を受け入れ、昨年の4月に初めて障がい者を雇用しました。勤務状況や組立作業の仕上がり、周りの社員との関係も問題なく、十分に戦力になると確信しました。続けて実習を受け入れ、今年4月に更に2名の障がい者を雇用しました。



【ストレスの少ない職場環境の中で】

個人ブースの中での作業で、ある程度自分のペースで仕事を進められることと、年齢の高い社員も多く包容力のある職場環境であることが、対人関係の苦手な彼等にとって馴染易かったと思います。

初めの実習受け入れの時は、社員に戸惑いもあったが、繰り返し教えてもらえば、問題なく作業ができることが理解されてきました。また、組立課の労務担当者が積極的にコミュニケーションを取り、相談し易い人間関係を作るとともに、就業・生活支援センターと連携し、特性の理解と良いところを伸ばす努力をしてきました。

2～3ヵ月で製品が変わるので、覚えることも多いですが、少しずつ難易度をあげ、無理なくこなせるように工夫しています。社員の理解も広がり、実習受け入れ・雇用を続け、若い人に入ってもらいたいと思っています。

【Yさんに聞きました】

1年目です。出荷の時は忙しいですが、その他は自分のペースでできストレスは少ないです。作業内容は徐々に増えていますが、繰り返し教えてもらうことで、早く覚えられるようになったことがうれしいです。

シールの貼り間違いなどの失敗もありますが、チームでチェックしていただき助かります。目標は、仕事をもっと覚えて続けていくことです。

【Tさんに聞きました】

1年目です。実習の時、機械が色々ありビックリしました。少しずつ慣れてきて、作業内容をメモできるようになりました。実際に働いてから、機械や製品が新しくなるのが不安でしたが、コツを掴めるようになりました。今は2つの機械を使って作業しますが、大変面白いです。

失敗してパニックになりましたが、今は冷静に報告できます。機械と話しながら、色々な作業を覚えていきたいです。



令和4年 11月取材